

みらいは 未来へ羽ばたけ！
しおがまっ子！

被災地の人たちへ届けたい
たましよう い いんかい
「玉小ボランティア委員会」

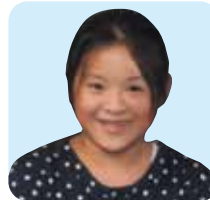
9月から10月にかけて、日本各地で台風や大雨の大きな被害があり、被災地を支援するための活動が行われました。玉川小学校のボランティア委員会も台風第15号の被災地のために募金活動を行い、日本赤十字社を通じて寄付を行いました。



募金をしようと思ったきっかけ

校外の人たちのために何かできないかと考えていたときに、台風第15号の被害をニュースで見ました。東日本大震災のときに塩竈はたくさん支援をしてもらっていたので、今度は私たちが台風の被災地の人のためにできることをしたいと思い、募金活動を行いました。

募金活動の発起人



今野和凜さん(玉小5年)



佐々木琴乃さん(玉小5年)

これからの活動

今は、被災地を支援する活動を知ってもらうための新聞やポスター作りをしています。被災した人々への手紙を届けられないかも考えています。ほかに学校の必要な備品をそろえる活動や、外国の人たちの助けになるような活動に取り組んでいます。いろいろな活動を通してたくさんの人が楽しく笑顔になれるようにみんなで頑張ります！



いのち たいせつ おも きも つた
「命の大切さと思いやりの気持ちを伝える」

第一小学校に菊池助治さん殉道碑が建てられました

大正13年1月20日、塩竈小学校(現在の第一小学校)の男子児童2名が、旧玉川堤(現在の法務局塩釜支局)で氷滑りをして遊んでいたところ、突然氷が割れて二人とも水中に落ちてしまいました。たまたま通り掛かった多賀城村(現在の多賀城市)の菊池助治さんが駆けつけ、すぐに一人を助け上げました。もう一人も救おうと自らの危険もかえりみず、対岸から氷の上を這うようにして近づき救おうとしましたが、氷が割れて児童と共に水中に沈んでしまいました。

痛ましい事故の歴史と菊池さんの功績を伝えるため、9月17日、NPOみなとしほがまにより殉道碑が新しく建てられました。

児童を救おうとした菊池さんの思いはとても尊いものです。冬休みにこのような悲しい事故が起こらないよう、危ないところで遊んだり、近寄ったりしないように気を付けて過ごしましょう。

